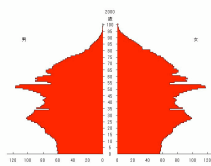


年齢構造を持つ集団を特徴づける値

年齢別人口構造（人口ピラミッド）

年齢各歳または年齢階級の人口



2000年時の日本の年齢別人口構造

国勢調査による現状把握+コホート要因法による将来予測

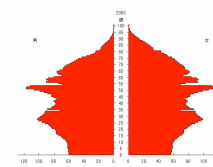
各年齢人口から計算できる値

$$\text{平均年齢} = \frac{\sum_{i=0}^{\omega} i \times n_i}{\sum_{i=0}^{\omega} n_i}$$

年少人口：0～14歳の人口

生産年齢人口：15～64歳人口

老年人口：65歳以上の人口



従属人口比率 dependency rate：
 （年少人口+老年人口）/ 生産年齢人口

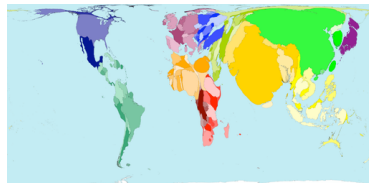
老年化指数：老年人口 / 年少人口 x 100

平均年齢：42.6
 年少人口：914.6万人
 生産年齢人口：4223.5万人
 老年人口：1278.1万人
 従属人口比率：0.519
 老年化指数：139.7%

これらの指標は、経済・教育活動など社会の動向を表すうえで重要

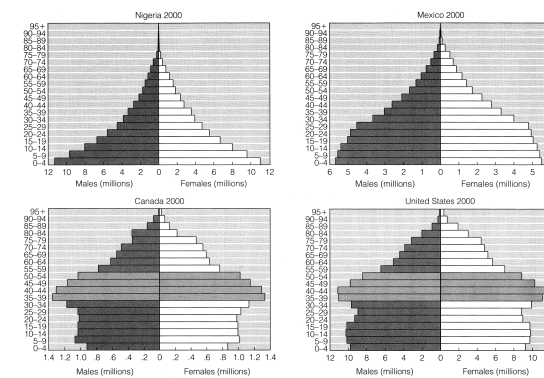
世界の人口

2002年時の世界各国の人口



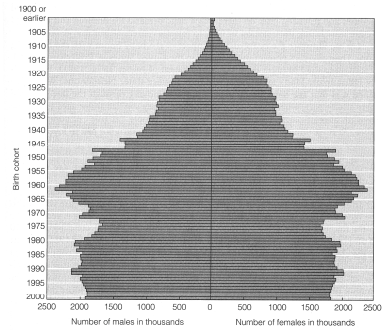
<http://www.worldmapper.org/display.php?selected=2>

各国の人口ピラミッド



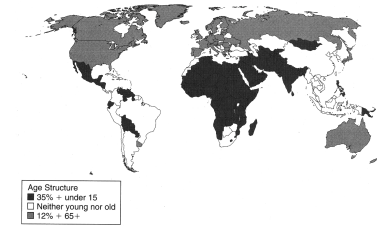
From Population: an introduction to concepts and issues, 8th edition, J. R. Weeks, 2002

人口構成から読む過去の出来事



From Population: an introduction to concepts and issues, 8th edition, J. R. Weeks, 2002

各国の年少・老年人口比率



From Population: an introduction to concepts and issues, 8th edition, J. R. Weeks, 2002

問題

コホート要因法を用いて前回シミュレーションした結果から、

平均年齢、年少人口、従属人口比率などの値の変化を求めよ。

年齢別死亡率、出生率の時代変化に関するシナリオを設定し、
上で求めた値を参考にして、効果的な少子高齢化対策に関する
提言を試みよ。